

第3回 ふくまる夢たまごセミナー



日時	7月26日(金) 18:00~20:00
場所	池田市庁舎7階大会議室
内容	「学校安全」の取り組みについて ～附属池田小学校事件を風化させないために～
講師	小林 弘典氏 (池田市教育委員会 教育部長)

学校安全とは・・・

塾生へ、小林部長からの問いかけです。
「学校安全と聞いて、皆さんは何を連想しますか。」
ここから、今回のセミナーが始まりました。

「学校安全」と聞いて・・・

みなさんは何を連想しますか？



各領域を通して「安全教育」と「安全管理」に関する活動を充実させる必要がある。

塾生からは、災害時の避難訓練、学校遊具・施設点検、自転車の交通安全教育、登下校の見守り、着衣水泳、いじめ防止対策など、多くの考えが出されました。



小林部長は、塾生の考えを受けとめた後、文部科学省の『「生きる力」を育む学校での安全教育』という冊子を紹介され、その目次から、学校安全の概要について説明されました。

続いて、2001年（平成13年）6月8日に起きた大阪教育大学附属池田小学校児童殺傷事件について、事件の概要と、事件後の経過、現在の附属小学校における学校安全の取り組みの内容をお話しいただきました。ご自身の経験もとに、学校教育の根幹に関わる安全安心についてのお話は、塾生に響いたようです。

**校内において不審者対応等のために
普段からできること（気を付けておきたいこと）**

- ① 校内では名札の着用を徹底する。（保護者にも）
- ② 笛、ペン等を常時携帯する。（笛は名札に付ける）
- ③ 校内で出会う人には、必ず挨拶（会釈）をする。
※ 不審な人物には「何かご用ですか？」等の声をかける。
- ④ 校内では運動靴を着用する。（草履やスリッパはダメ）
- ⑤ 教室は、できる限り閉めきらず開放しておく。
- ⑥ 教室には、不審者撃退用の棒などを置いておく。
- ⑦ 教室等の出入口に背中を向けている時間をできるだけ少なくする。

23

グループワークでは、不審者対応等のために、普段からできること（気を付けておきたいことを）話し合いました。



セミナー最後の、小林部長の言葉です。

「子どもたちが、毎日安心して学校生活を送ることができるように、教師は防犯について高い意識を持ち合わせておく必要があります。『子どもの命を守ること』は、教師として最も大切な仕事（使命）であることを強く心に留めておいてください。」

<塾生の感想から>

- まず、初めに思ったことは、附属小学校であった事件を風化させてはならないということです。事件から私たちは様々なことを学ばせてもらうことができたので事件ことをこれからの世代にも伝えていく必要があると感じました。
- 一番印象に残ったのは、「避難だけでは終わらない」ということです。子どもたちの誘導、連絡・報告、事件後の心のケアなど様々な対応が必要であるとわかりました。子どもの命をあずかっている学校という場所の役割を常に忘れずに自分にできることを考えていきたいです。
- 僕たちが、小学校、中学校時代に安全に学校に通うことができたのは、附属小事件を踏まえ、各学校や地域で取り組みがあったからだと思えました。教員を目指していく者として、子どもの命を何より守ることを大事にしていきたいと思えます。